

6月の花といえば、やはり紫陽花が真っ先に思い浮かびます。紫陽花の語源は「あづさい」が変化したものと言われています。「あづ」は「あつ」（集）、「さい」は「さあい」（真藍）青い花が集まって咲く様子を表しています。

「花屋さんが言うことには」 山本幸久／著 ポプラ社
＜紫陽花や昨日の誠今日の嘘 正岡子規＞

「アジサイの色が日々変わるように、ひとの心も昨日と今日ではちがう」

花言葉から花にまつわる俳句や詩、短歌まで、物語の中にたくさん出てきます。



読書感想文を書いてみよう

読書感想文は、本を読んで感じたことを書くことによって深め、著者の考えに思いを巡らせていくため「考える読書」ともいわれています。

中学校の部

第70回

青少年読書感想文コンクール

高等学校の部



「ノクツドウライオウ：靴ノ往来堂」
佐藤まどか／著 あすなる書房
祖父の作った靴を持つ人たちにおきた、人生を変えるほどの変化。それは進路に迷う夏希の心を大きく揺さぶる。さわやかな青春物語。



「宙わたる教室」
伊与原 新／著
文藝春秋



「希望のひとしずく」
キース・カラプレーゼ／著
代田亜香子／訳 理論社
3人の中学生が古い井戸を見つけた。願いが叶うという伝説の井戸が町の人たちに次々と奇跡を起こす!? 愛と希望があふれる物語。

「優等生サバイバル：青春を生き抜く13の法則」



ファン・ヨンミ／作
キム・イネ／訳
評論社



「アフリカで、バッグの会社ははじめました：寄り道多め仲本千津の進んできた道」
江口絵理／著 さ・え・ら書房
アフリカの貧困問題を解決し、女性を輝かせたい——自分の本当の夢を追いつづけた仲本千津さんの“進路決定”ドキュメンタリー。



「私の職場はサバンナです！」
太田ゆか／著
河出書房新／社





新刊案内



「すべての恋が終わるとしても 140字の忘れられない恋」
冬野夜空／著 スターツ出版

「Silent Love」
奥田英二／著 集英社

「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」
汐見夏衛／著 スターツ出版

「杉森くんを殺すには」
長谷川まりる／著 くもん出版

「いのちのふしぎがおもしろい！すごい植物図鑑」
稲垣栄洋／監修 カンゼン

「ノーベル賞受賞者列伝」
若林文高／監修 講談社

「性格が合わないんじゃないなくて話がかみ合っていないから」
稲葉真由美／著 WAVE出版

「それでも、世界はよくなっている」
ラシュミ・サーデシュパンデ／著 神田由布子／訳 亜紀書房

「たった3分間のすごい世界 美しい写真でたどる科学の教養」
大崎章弘／監修 えほんの杜

「とにかくかわいい いきもの図鑑」
今泉忠明／監修 ふじもとめぐみ／イラスト 西東社

「住みたくない星ずかん」
縣秀彦／企画協力 入澤宣幸／著 朝倉世界一／絵 創元社

「元素に名前をつけるなら」
江頭和宏／著 黒抹茶／絵 オーム社

「日々憶測」
ヨシタケシンスケ／著 光村図書



